

- これまでは、白川文字学の漢字指導者の養成や漢字教育賞の実施など「漢字教育」への活用を進めてきた。
- 今後は、「古典学習」「書写・書道教育」「中国語・中国文化の学習」などに活用の幅を拡大し、より効果的な国語教育の推進を図る。

1 古典学習への活用

○増補版「古典音読・暗唱ノート」を全小・中学校で活用

〔概要〕

- ・平成28年度から福井ゆかりの作品を取り入れた「古典音読・暗唱ノート」を全小・中学校で活用
- ・内容を充実した増補版を作成し、4月から活用

〔主な増補内容〕

- ・小学生版、中学生版とも11ページ分増補
- ・福井ゆかりの山川登美子や魯迅の作品、白山を詠んだ短歌、ことわざ、慣用句を追録

○ことわざ・慣用句・四字熟語教材を作成・配付

- ・2月から、ことわざや慣用句の意味や使用例を日めくりの形で教室に掲示
- ・授業や朝の会、帰りの会で活用

2 書写・書道教育の推進

○書写・書道指導員の派遣を今年度より開始

〔概要〕

- ・県内の書道団体と連携し、学校に書写・書道の外部指導者(70～100名)を派遣し、児童・生徒の書写能力と教師の指導技術を高める

〔実施方法〕

- ・小学校3年～6年 年間 6時間派遣 ・中学校1年～2年 年間 3時間派遣
- ・高等学校(部活)年間20時間派遣

〔研修〕

- ・書写・書道担当教員を対象にした実技講習会や公開授業
(内容) 指導員、動画教材(DVD)の活用方法
- ・派遣指導員への研修
(内容) 学習指導要領に基づいた授業における指導法、評価について

〔教材(DVD)〕

- ・学校のニーズに合わせた動画教材を作成、提供し授業に活用
ー福井発! 4つの視点から学ぶ書の上達法ー
(穂先の方角 運筆速度 筆圧 軸の角度)

〔子ども向け漢字イベント〕

- ・親子書道教室の開催
- ・集まれ! 「わたしの漢字」展の開催

3 中国語・中国文化研修

○国語科などの教員が中国語の発音や中国文化を学習

平成28年度から国語科教員を中心に漢詩や論語を中国語を用いて読むための研修を実施
国語科教員など183名が参加

〔平成29年度の実施内容〕

- ・小・中・高校の教員を対象に、国語授業力向上研修を実施
(内容) 漢詩を中国語で読む・古典について学ぶ・書写・書道、白川文字学について学ぶ
- ・『白川静著作集』などを題材に、授業活用法を開発する研究会を実施

○授業力が向上した教員による授業実践で、古典学習における子どもたちの学習意欲・理解の向上を図る

4 白川文字学の普及・発信

○漢字ネットワークの強化

- ・立命館大学 ・白川文字学を活用した授業の共同研究、漢字教材の共同開発
・資料の相互借用 白川静先生原稿、蔵書、書簡等
・共同企画展の開催(白川文字学の室、立命館白川静文庫)
- ・平凡社など: 出版社とタイアップした講座の開催、福井の漢字教育の普及発信
- ・漢字能力検定協会: 福井の漢字教育体験講座のシリーズ開催
- ・白川静会(東京)など、全国の漢字研究グループによる実践発表会を開催するなど、福井を拠点とした全国漢字ネットワークを強化し、研究成果を共有し白川文字学の普及を図る

○漢字文化ゼミの開講

漢字の背景にあるもの(歴史、文化など)を学び、白川文字学への理解を深める

- ・白川文字学研究者をはじめとして、幅広い分野の講師による講座開設(年間6回程度)

〔講師〕

辻原登(作家) 高島敏夫(中国史) 加賀美幸子(アウンサー) 安田登(能楽師)等

〔ゼミのテーマ例〕

- ・古典講読(万葉集等) ・中国の歴史 ・書道 ・文学 ・伝統芸能